

## 平成21年度第1回新技術活用評価会議を開催します ～事前審査1件、事後評価2件を審議～

国土交通省では、技術開発の促進及び新技術を公共工事で積極的に導入していくため、平成18年8月より、「公共工事等における新技術活用システム」を本格運用しています。

これに基づき、各地方整備局等において、新技術の審査・評価等を行うため、新技術活用評価会議を設置しています。

東北地方整備局では、7月2日に「平成21年度第1回新技術活用評価会議（座長：鈴木基行東北大学大学院工学研究科教授）」を開催します。

今回は、事前審査※<sup>1</sup> 1件、事後評価※<sup>2</sup> 2件を審議します。

※1. 事前審査：新技術試行の前に「直轄現場における試行の可否」を審査

※2. 事後評価：新技術活用の後に「活用等の効果」を評価

### 【開催概要】

日 時：平成21年 7月 2日（木） 14：00～16：00

場 所：二日町東急ビル 4階会議室（仙台市青葉区二日町16-1）

取 材：当日の取材は、頭取り（会議冒頭の写真等の撮影のみ）となりますので予めご了承ください。

なお、各技術の評価結果は、後日記者発表（投げ込み）する予定です。

審議案件：1. 事前審査（1）技術名称：環境に安全な無機系固化材

2. 事後評価（1）技術名称：高性能防雪柵（誘導板付忍び返し柵）

（2）技術名称：岩盤切削機サーフィスマイナ

※各技術の概要は、資料－1参照。

※各技術の詳細情報は、新技術情報提供システム [NETIS] で提供しています。

NETISアドレス：<http://www.mlit.go.jp/netis/>

※東北地方整備局新技術活用評価会議の設置要領及び委員名簿は、参考資料－1，2参照。

<発表先：東北専門記者会>

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区二日町9-15 電話 022(225)2171(代)

企画部 施工企画課長 阿曾 貢貴（内線3451）

施工企画課長補佐 上林 喜久男（内線3452）

## 平成21年度第1回新技術活用評価会議\_審議案件\_技術概要一覧

審議区分	技術名称	NETIS 登録番号	NETIS申請者 (技術開発者)	技術概要(NETISより抜粋)	
				技術分類	何について何をやる技術なのか?
事前審査	環境に安全な無機系固化材	HR-050022-A	株式会社エコ・プロジェクト	土工 土工 残土処理工	各種汚泥に対する固化処理材(固化材) 固化材は従来セメント系及び石灰系等が主流であるが、いずれもアルカリ性が高く路材等にしか使用できなかった。 開発の「泥ん固」シリーズは環境に配慮した製品で緑化改良材としてまた、ビオトープ等に適合した固化材も含まれている。
事後評価	高性能防雪柵(誘導板付忍び返し柵)	TH-040007-A	理研興業株式会社	付属施設 防護柵設置工 防雪柵設置及び撤去工	道路の吹きだまり防止や視程障害の緩和を図ることを目的とした防雪施設である。
事後評価	岩盤切削機サーフィスマイナ-	CG-990014-A	奥村組土木興業株式会社	土工 土工 掘削工	本技術は、岩盤掘削工事において、発破の使用が制限される場合に、低騒音・低振動・低粉塵の機械施工を実現したもので、中硬岩から硬岩(地山弾性波速度2.0~4.0km/sec、一軸圧縮強度196MPa)までの岩盤に対して効率の良い掘削作業を可能にした。 本機は本体の自重を反力として、切削ビットを螺旋状に装着した切削ドラムを油圧モータで回転させて岩盤を掘削するものであり、掘削~小割を連続的に行うことが可能である。機械は2500SM(掘削幅:2.5m)、3500SM(掘削幅:3.5m)の2機種ある。

※各技術の詳細情報は、新技術情報提供システム[NETIS]で提供しています。

NETISアドレス: <http://www.mlit.go.jp/netis/>

「東北地方整備局 新技術活用評価会議」設置要領

(目的)

第1条 東北地方整備局における公共工事への技術活用の促進を図るため、技術開発・活用・普及のあり方及び技術募集にあたっての進め方について広く助言を戴くとともに「公共工事等における新技術活用システム」(以下「新技術活用システム」という)における新技術の評価を戴くことを目的として、東北地方整備局新技術活用評価会議(以下「評価会議」という)を設置するものである。

(委員)

第2条 評価会議は座長及び委員をもって構成するものとし、委員は常任委員及び非常任委員からなるものとし、別紙のとおりとする。  
 2 委員は有識者等のうちから東北地方整備局長が委嘱する。  
 3 委員の委嘱期間は2年以内とし、再任は妨げない。

(座長)

第3条 評価会議に座長を置き、委員の互選によりこれを定める。  
 2 座長は、評価会議を代表し、会務を総理する。  
 3 座長に事故のあるときは、座長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(評価会議の事務)

第4条 評価会議は、以下の各事項について審議し、助言・提言・評価を行うものとする。  
 ①新技術の事前審査  
 ②現場ニーズに応じた技術の募集及び選定  
 ③新技術の活用等の事後評価  
 ④活用促進技術の選定  
 ⑤新技術の試行計画の策定  
 ⑥その他新技術活用システムの運用に関すること

(運営)

第5条 評価会議の招集は、東北地方整備局長の要請を受けて座長が行う。  
 2 評価会議には、必要に応じて非常任委員が参加できる。  
 3 評価会議は、年4回開催するものとする。  
 4 座長は、必要に応じて、臨時評価会議を開催できるものとする。  
 5 評価会議の庶務は、企画部施工企画課、港湾空港部海洋環境・技術課、東北技術事務所及び仙台港湾空港技術調査事務所において処理する。

(雑則)

第6条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、座長がこれを定める。

附 則 本設置要領は、平成13年 9月28日より施行する。

附 則 本設置要領は、平成16年11月22日より施行する。

附 則 1. 本設置要領は、平成17年 7月28日より施行する。  
 2. 従来 of 技術活用委員会は廃止する。

附 則 1. 本設置要領は、平成18年 9月29日より施行する。  
 2. 従来 of 新技術活用委員会は廃止する。

## 東北地方整備局新技術活用評価会議 委員名簿

常任・非常任別	氏名	所属・役職	備考
常任委員	遠藤 孝夫	東北学院大学 工学部 環境土木工学科・教授	
	風間 基樹	東北大学大学院 工学研究科・教授	
	京谷 孝史	東北大学大学院 工学研究科・教授	
	鈴木 基行	東北大学大学院 工学研究科・教授	座長
	高橋 弘	東北大学大学院 環境科学研究科・教授	
	前田 直己	東経連事業化センター 産学マッチング委員会・委員	
	村井 貞規	東北工業大学 建設システム工学科・教授	
	元田 良孝	岩手県立大学 総合政策学部・教授	
	安部 友則	(独)土木研究所 水工研究グループ長	
	平石 哲也	(独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部長	
	戸谷 有一	東北地方整備局 企画部長	
	林崎 吉克	東北地方整備局 東北技術事務所長	
	非常任委員	岡田 光彦	東北地方整備局長
河崎 和明		東北地方整備局 副局長	
後藤 隆之		東北地方整備局 副局長	
田上 澄雄		東北地方整備局 河川部長	
三浦 真紀		東北地方整備局 道路部長	
山本 浩		東北地方整備局 港湾空港部長	
磯部 正		東北地方整備局 営繕部長	
佐藤 正勝		東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所長	

(敬称略、産学委員は五十音順)